

◆ 最優秀賞 ◆

外国人だから・・・

南魚沼市立大和中学校 3年
サフィヤ ビンティ シャールル ニザム

「日本人ではなく、外国人のせいだ。」

この言葉は東京でゴミが落ちている様子を映した動画に対して送られたコメントです。私はそのようなコメントを見る度、一部の外国人の行動なのに、外国人全員が悪いという固定観念を持つ人が多いようで、とても悲しいです。私も周囲から「英語を教えて。」や「英語のテストは高得点で当たり前。」などのように、外国人だから勉強しなくても英語ができると思われることがあります。しかし、実際は私もみんなと同じように、英単語を覚え直したり文法を勉強したりと地道に努力をしています。

私は3歳まで外国に住んでいて、当時は英語がペラペラでした。しかし、外国人である私が日本に来て生活が始まると、私の周りの言葉は一気に日本語に変わっていきました。

ある日、私が3歳だった頃の動画を両親が私に見せてくれました。画面の中に映る幼い私は、今の自分からは信じられないくらい、英語をペラペラと楽しそうに話していました。しかし、今の私には画面の中の自分が話している言葉が、全く理解できませんでした。まるで、自分ではない知らない誰かの映像を見ているような感覚になり、すごくショックを受けました。日本語ができるようになったのはいいものの、それと引き換えに英語を忘れてしまったからです。一つのことを手に入れるために、もう一つ大切なものを失ってしまった感じがありました。

私にとって日本語は、日常生活を送っていく上で大切だし、英語は生まれたときから使っているとてもなじみのある大切なものです。忘れてしまったものを取り戻すことは大変ですが、勉強を続けるうちに少しずつ英語の楽しさも思い出してきました。日本に来て必死に覚えたこの日本語と同じように、これからは英語もイチから勉強していきたいです。

また、私は、今年の十二月に日本語能力試験一級を受けました。日本語能力試験とは、日本語を母語としない人向けの試験です。読解問題や聞き取りなどが出題され、特に一級は日本人でも満点を取ることが難しいレベルで合格率は国内で30%程度です。私は、この試験に合格することを目指して、最低でも毎日1時間は勉強

強したり、小説をたくさん読んだりしました。試験当日、周りは大人ばかりで中学生は私一人だけでした。そのような状況の中、とても緊張しましたが無事合格することができました。外国人でも日本語ができる人なのだと認められたような感じがして、とても嬉しかったです。語学を学ぶことは、分からなかった言葉が分かるようになって嬉しいと思う反面、日本語と英語とでは、文法が違うので大変でした。しかし、英語も日本語もどちらも大切にしたいという思いで必死に頑張りました。

このように見た目では努力しているか分からないことが多いと思います。固定観念で外国人全員が英語ができると思わないでほしいです。私は「外国人なのに英語ができないの？」と馬鹿にされるのが怖いので、見えないところで必死に英語を勉強しています。

みなさんには、外国人という大きなくくりで人を判断してしまうのではなく、みんな同じ一人一人の人間として、受け入れて接してほしいと思います。そうすれば、「外国人だからこう」という固定観念を持つ人は減っていくと私は思います。

日本語はもちろん、もし英語もペラペラに話せるようになったら、私は将来二つの言葉を活かして、通訳者のような国際的な仕事ができたらいいなと夢見ています。言葉が通じなくて困っている人を助けられる人になるために、毎日の努力を前向きに続けていこうと思います。